



Mental Wellness !

〔学生総合相談通信 No.40〕

発行 : 平成27年3月30日

拓殖大学学生主事室

文京キャンパス整備事業が完了し、いよいよ4月より全学部同一キャンパスでの一貫教育が始まります。これに伴い、八王子キャンパスは「八王子国際キャンパス」に、学生センターは「学生支援センター」に、そして、学生主事室は「学生総合支援室」に名称変更します。皆さんの大学生生活が充実したものとなるようにより一層の支援に努めます。

# Topic いい薬があるって…脱法だから大丈夫か??

昨年7月から、それまで脱法や違法と呼ばれていたドラッグを、危険ドラッグと定め、警戒を強めています。合法ドラッグ・脱法ハーブは全部危険は薬物です。本学としても、「薬物乱用防止」について講習会やリーフレットの配付等、注意喚起しています。興味本位では許されない、違法行為であることを十分に認識してください。

## 危険ドラッグ=乱用者7割 20~30代

【読売新聞 平成27年3月6日(朝刊)】

危険ドラッグに絡む事件で、全国の警察が昨年1年間に摘発した乱用者は631人で、20~30歳代が7割を占めていることが警察庁のまとめでわかった。約8割は薬物で摘発されるのが初めてのケースで、同庁は、危険ドラッグが他の違法薬物の使用にもつながるとして警戒を強めている。

### ■目立つ「初犯」

警察庁によると、昨年1年間に危険ドラッグに絡み摘発したのは840人で、前年の4.8倍。自ら「使用」したことが原因とみられる死者は112人で、乱用者が起こした交通事故で4人が亡くなった。乱用者631人のうち、最も多かったのが20歳代で236人。次いで30歳代で204人で、20~30歳代の若年層が7割を占めた。未成年者は26人で、大学生1人と高校生3人も含まれていた。平均は33歳で、覚醒剤より9歳若かった。薬物犯罪で初めて摘発されたのが8割を占め、覚醒剤の35%と比べて、大きな差が出た。購入先は、街頭店舗が366人(58%)、インターネット上は124人(20%)だった。

~新しい環境での学習が始動する4月。不安や戸惑い、一抹のさみしさから、親切に声をかけられたりすると、優しくて良い人と安易に信用してしまいがちです。自然体で、慌てないで、冷静に、今、目前にある課題を着実に解消していきましょう。

大学生活に対する不安や悩みなどがありましたら是非一度、学生総合相談窓口である学生主事室へ来室して下さい。随時、専門職である学生主事が相談に応じます。

八王子キャンパス	管理研究棟1階	八王子学生主事室	〔学生主事3名〕
文京キャンパス	C館2階	学生主事室	〔学生主事4名〕
※月~金	9:00~17:00	土	9:00~15:00

### 各種相談日のご案内【4月】

- 心の健康相談日—専門医が来校し、心の健康に係わる不安や悩み等への医学的対処法を直接アドバイスしています。
  - 〔文京キャンパス〕 17日(金) 14:30~17:00
  - 〔八王子キャンパス〕 23日(木) 13:30~16:00
- 法律相談日—本学教員による、法律に係わる諸問題についての相談機会を設けています。
  - 〔文京キャンパス〕 23日(木) 12:40~13:20
- 女子学生のための相談日—本学女性教員による、女子学生のための相談機会を設けています。
  - 〔八王子キャンパス〕 17日(金) 12:40~13:20

〔予約制〕 相談希望者は、何れかのキャンパス「学生主事室」で事前に予約して下さい。